

# 「匠」棒針で編むあみぐるみ クリスマステディベア



デザイン:石井幸代

## <使用道具>

「匠」ミニ棒針2本針(23cm) 5号

とじ針No.18

カットワークはさみ115

縫い針

スーパーポンポンメーカー・ミニ 20mm

## <材料>

毛糸

[a] 中細～合太毛糸 薄茶色 約15g

[b] 中細～合太毛糸 白 少量

[c] 中細～合太毛糸 赤 約5g

[d] モコモコのファンシーヤーン(中細～合太)  
白 少量

[e] 中細 こげ茶色 少量

※毛糸のゲージ(10×10cm)

[a]～[d]の糸:24目×34段

手芸用綿 適宜

目ビーズ(直径6mm) 2個

手縫い糸 黒

## <作り方>

### ●アドバイス

- 全てのパーツを平編みで編んで、後から縫い合わせて立体にしていきます。
- 編み始めと編み終わりの糸端は、後で縫うために10cm以上残してください。
- 縫い合わせる時は、表目の方からすくいとしします。
- テディベアのボディー、頭、腕、脚、耳、帽子のパーツの編み終わりは、伏せ止めではなく糸を少し長めにカットし、その糸を最後の段の編み目に通して絞ります。

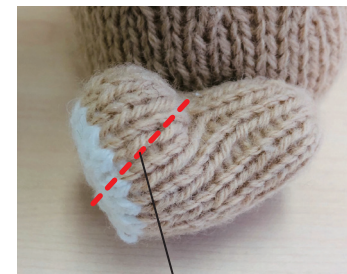
①ボディー、頭、腕、脚、耳、帽子、ベストのパーツを編み図を参考に編みます。  
編み図は2ページ目から4ページ目にあります。

②ボディーを成形します。編み終わりの糸を使って半分くらいまで縫い合わせます。  
編み始めの糸を作り目の段にぐしぬいするように通して強く絞ります。  
そのまま続けてサイドを縫っていき、全て縫い合わせる前に綿を詰めて閉じます。

③腕を成形します。編み終わり糸でサイドを縫い合わせます。  
作り目の方から綿を入れます(綿の入れ口は閉じずにそのままにしておき、  
後でボディに縫い付けながら塞ぎます。)

④脚を腕と同様に縫って綿を詰めます。足首の形を整えます。  
[b]糸をとじ針に通し、足の裏から針を入れて足首の前に出します。  
次は足首のほうから足の裏へ針を入れます。もう一度足の裏から足首の前に  
針を出し、糸を引いて足裏を平らにし、足首の形を整えます。

⑤頭をボディーと同様に縫って綿を詰めます。  
アイラインにしたいところをぐしぬいして糸を引き、くぼみをつけます。  
目のビーズを縫い付け、鼻を[e]糸で刺繍します。



足の裏と足首部分に  
このように糸を通して  
形を整える



アイラインにしたいところ  
をぐしぬいして糸を引き、  
くぼみをつける



⑥帽子を成形します。編み終わりの糸を使って縫い合わせ、帽子の先端にポンポンを縫い付けます。

ポンポンは、スーパーポンポンメーカー・ミニ 20mm を使って、それぞれのアームに〔b〕糸を約 50 回巻いて作ります。  
帽子の内側には綿を少量詰めておきます。

⑦耳は薄茶色のパーツ（〔a〕糸使用）と白のパーツ（〔b〕糸使用）を外表になるように重ねて、縫い合わせます。同じものをもう 1 つ作り、白い面が前に来るようにして頭に縫い付けます。後で頭に帽子をかぶせて、帽子の穴から耳を出すので、耳を付ける位置は帽子を使って確認してください。

⑧帽子を頭にかぶせて耳を穴から出し、帽子の縁（モコモコしている編み地部分は避け、赤い編み地部分）を〔c〕糸でぐるりとステッチして頭に固定します。



⑨頭と腕、脚をボディに縫い付けます。  
腕は、ベストを着たときにベストの穴から腕が出るように位置を確認して付けます。

⑩ベストにポンポン付きのひもを付けます。帽子に付けたポンポンと同様に〔b〕糸でポンポンを 2 個作ります。画像のように、ひも部分が約 10cm になるようにポンポンとベストに結びます。

⑪ティベアにベストを着せ、ひもを結んで完成です。



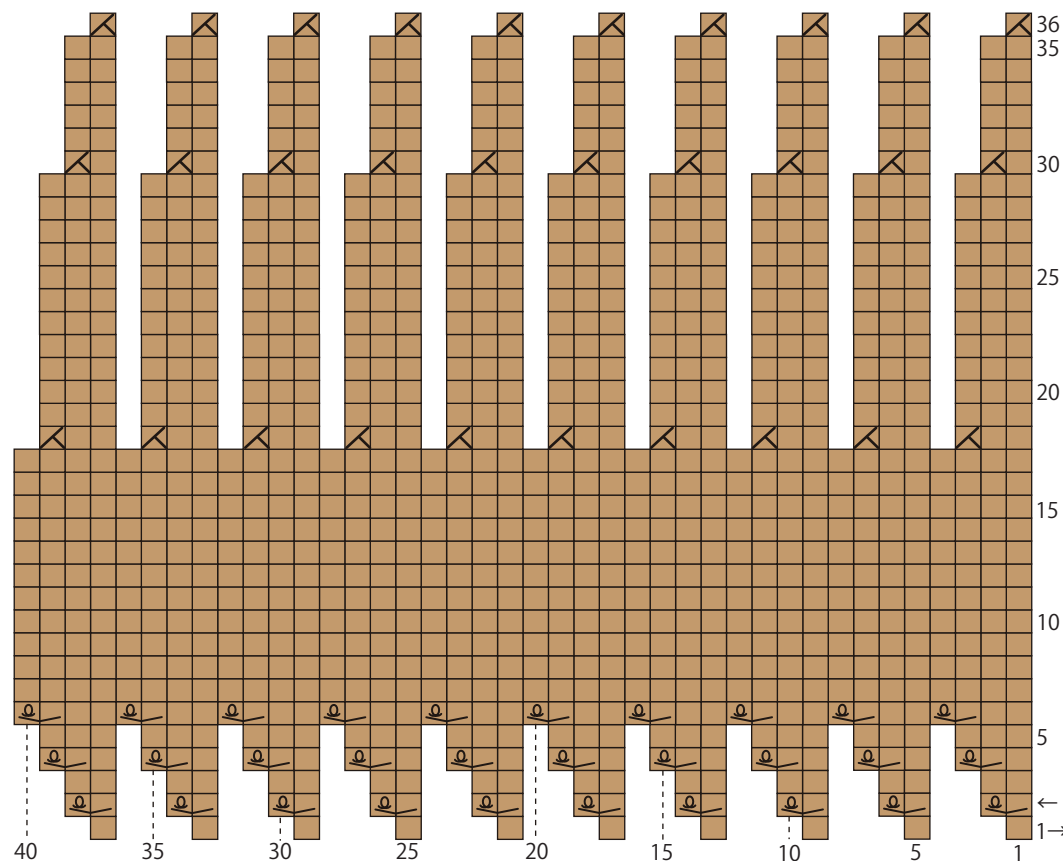
### <編み図>

※編み目記号については3ページ目にあります。

※この編み図では、作り目は1段と数えていません。1段目と同じ糸で作り目を作り、編み始めます。

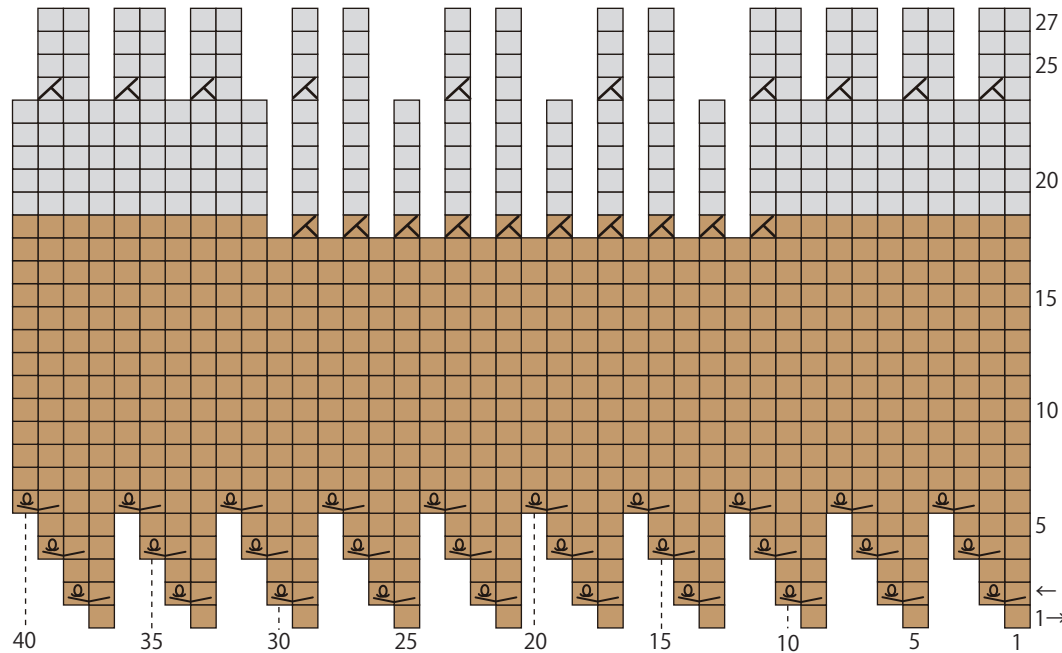
### 【ボディ】(作り目:10)

使用糸:〔a〕



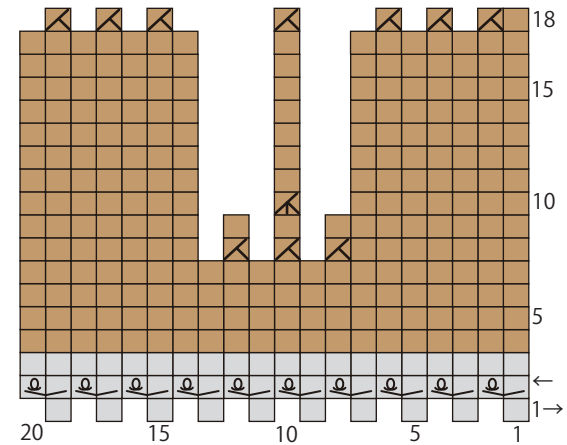
【頭】(作り目:10)

使用糸: [a] ■ • [b] □

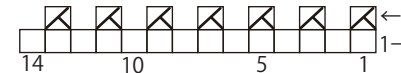


【脚・2枚編む】(作り目:10)

使用糸: [a] ■ • [b] □

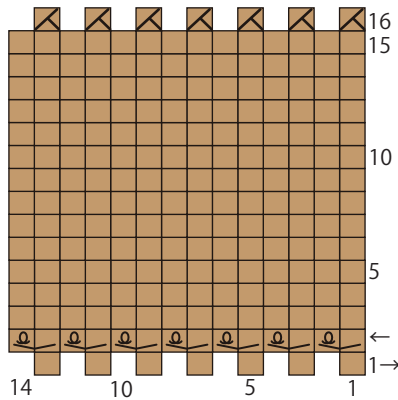


【耳・[a]糸で2枚、[b]糸で2枚編む】(作り目:14)



【腕・2枚編む】(作り目:7)

使用糸: [a]



【編み目記号】

- = 表編み
- ▢ = 裏編み
- ⊗ = 左上2目一度
- ⊠ = 裏目の左上2目一度
- ⊡ = 右上2目一度
- ⊣ = 裏目の右上2目一度
- = 伏せ止め

⊕ = 表目の増し目

※まず普通に表編みをします。その時に左の針の目を外さずにおき、そのままねじりを編む要領でその目に針を入れてもう一度表編みします。

⊙ = 今回の編み図では全て巻き増し目

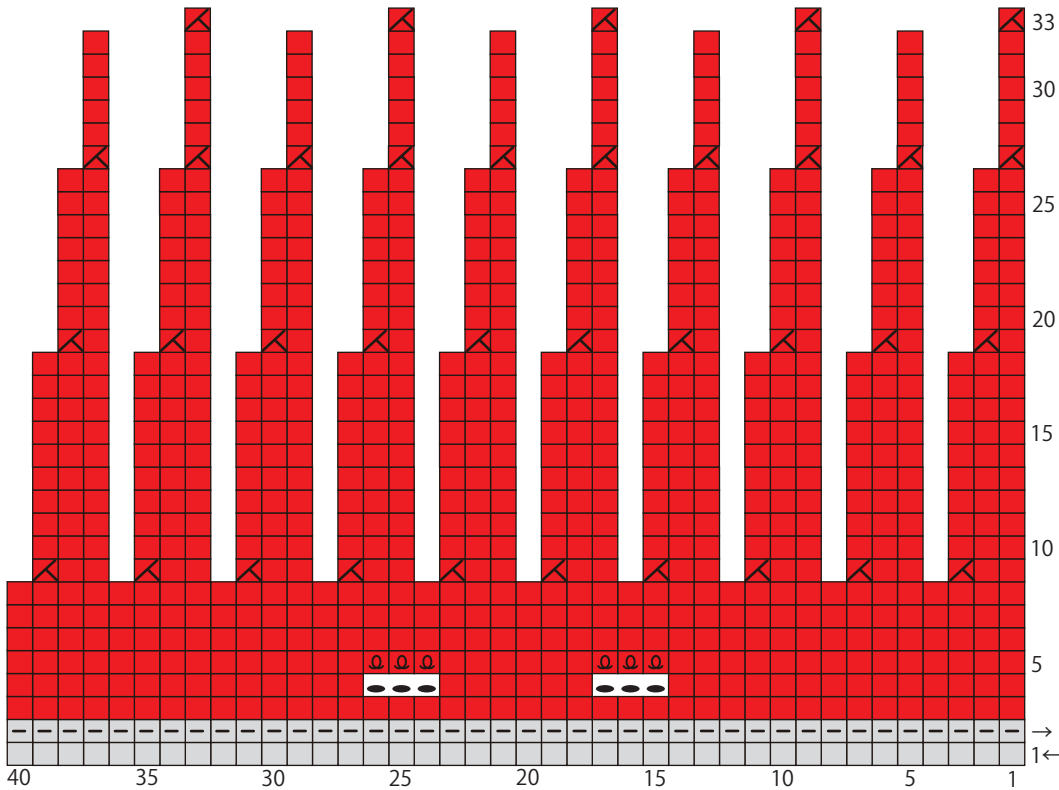
↗ = 糸をつける

↘ = 糸を切る

【帽子】(作り目:40)

使用糸: [c] ■・[d] □

帽子とベストは作り目の後ガーター編みになるように編むので、  
1段目も2段目も自分から見て表編みで編みます。  
そのまま編み図通りに編み、[c]糸のメリヤス編みのほうが編み地の表になります。



【ベスト】(作り目:30)

使用糸: [c] ■・[d] □

8段目から11段目(緑の線で囲っている部分)は、左側、真ん中、右側と分けて編んでいきます。まず7段目から続けて左側を編み、真ん中と右側は新しく糸を付けて編みます。12段目からは、左側を編んだ糸をそのまま使って編みます。

